



1e2018-001

2018 会計年度

一般財団法人ワンアース
事業計画書

平成 29 年 10 月

一般財団法人ワンアース



1e2018-001

はじめに

一般財団法人ワンアースは、宇宙的視点から、この星の、いのちの美しさを体感し、ひとつの星で共生するという新しい価値観に基づいた文化交流で、世界を一つに繋いでゆく、という目的を掲げ、2015年6月5日に創立された。

本書は、当財団の2018年度(2017年10月1日から2018年9月30日まで)の事業計画を示すものである。

2017年10月1日

代表理事 長谷川洋一



1e2018-001

1. 当財団設立の目的

宇宙的視点から、この星の、いのちの美しさを体感し、ひとつの星で共生するという新しい価値観に基づいた文化交流で、世界を一つに繋いでゆく

宇宙飛行士が、宇宙から生々しい言葉と映像を伝える時代になり、この星のありのままの姿が認知されるようになった。その結果、かけがえのない母星で共に生きる『地球市民』という新たな価値観が、国境を越えて醸成されつつある。

一般財団法人ワンアース®(以下、ワンアースという)は、地球市民、とりわけ未来を担う青少年らとともに、宇宙的視点から、この星の、いのちの美しさを学ぶ。

そして、国境を越えた地球市民活動を展開し、各地域の風土や文化の多様性を、相互に敬意を持って受け入れ、宇宙文化とも言える新たな共通の価値観を紡ぎ出す。

これらの活動により、この星に生きる誇りと喜びを共有し、世界を一つに繋いでゆくことを究極の目標とする。

当財団は、設立以来 2020 年頃までは、以下の分野を重視する。

1) きぼうの桜事業

宇宙を旅した「きぼうの桜」群を筆頭に、「ソラユリ(宇宙を旅したササユリ)」「宇宙すみれ春野・希望(宇宙を旅したコスミレ)」を、東日本大震災、阪神淡路大震災、日航機墜落事故、原爆等の被災地に贈呈し、復興と市民交流を支援するとともに、大災害の記憶を人類共有の教訓として継承していく。

2) 宇宙文化の創造事業

国内外からの地球市民の参加を得て、国際宇宙ステーション等を活用した宇宙ミッションを実施し、宇宙的視野からみた地球の姿および宇宙飛行士からのメッセージなどを世界で共有し、宇宙文化を創造していく。



1e2018-001

2. 今年度(2018年度)事業計画

2015年に一般財団法人として設立したワンアースは、定款にて『非営利が徹底された法人』として活動の実績を上げつつ、公益財団化を見据えた会計システム強化を行う。

きぼうの桜計画は、当財団の存在意義に関わる最重要事業として推進し、2018年度中には東北三県のすべての沿岸市町村にて計画を公式化し、その5箇所程度においては、2018年春期に植樹祭を行う。

2018年5月には、きぼうの桜事業に参加する各地域の水平的なつながりの礎を築くための会合「第2回 きぼうの桜サミット」を兵庫県淡路島で開催する。

きぼうの桜をとりまく市民文化の醸成のため、物語および合唱曲を広く周知する。

また、全国的にさらに認知してもらうためにも、公的補助金等を積極的に獲得し、メディア露出含めた広報努力を行う。

さらに、2020年頃までの成果を目指した宇宙ミッションを検討し、外部有識者・協力者らの意見も取り入れつつ、魅力的なプロジェクト計画を策定し、これに着手する。

以上の方針により、2018年度(2017.10.1-2018.9.30)は、以下の事業を行う。



1e2018-001

1) きぼうの桜

きぼうの桜事業とは、宇宙を旅した「きぼうの桜」を、再生のシンボルとして復興各地に贈呈・植樹する事業であり、桜の植樹後、恒久的な養育までを含むため、その事業期間は千年以上と想定している(当面の表記上は、3011年3月11日までとする)

きぼうの桜

津波の被害を受けた全ての市町村の津波到達点上に宇宙桜を植えます

千年の津波から、千年の桜が守ってくれる

One Earth

①巨桜が避難の目印に
安全圏を示す、子孫に伝承できる目標物

②雄々しい宇宙桜は希望のシンボル
尋常でないその生命力は、観る者に生きる力を与えてくれる

③新しい観光資源として
一本有るだけで渋滞が起こるほどの観光名所になる

④東北海岸で宇宙桜の巡礼ができる
地域交流、そして数千年続く文化事業を、今、はじめましょう

宇宙桜とは：若田光一宇宙飛行士とともに、宇宙を旅し、地球を4100周した名桜(日本三大桜含)の種から育てられた巨桜の直系子孫。数千年生き、公園の桜の数倍巨大化する、稀少な品種です。

青字は実施が決定した市町村
桜色♡は植樹済みの市町村
◀2017年12月1日時点▶

一般財団法人ワンアース
<http://www.the-one-earth.org/jp/>

municipalities listed on the map: 洋野町, 久慈市, 野田村, 普代村, 田野畑村, 岩泉町, 宮古市, 山田町, 大槌町, 釜石市, 大船渡市, 陸前高田市, 気仙沼市, 南三陸町, 女川町, 石巻市, 松島町, 東松島市, 利府町, 七ヶ浜町, 多賀城市, 塩竈市, 名取市, 仙台市, 岩沼市, 亶理町, 山元町, 新地町, 相馬市, 南相馬市, 飯館村, 浪江町, 双葉町, 大熊町, 富岡町, 檜葉町, 広野町, いわき市.

苗木の流し, 看板, 土質改良域, 木柵または補込み, 苗, 木ステージ等

約20m角のハート型の木柵または補込みで桜を保護する。ハートの先は、宇宙桜の母樹の芽実を採っている。ハートのくびれから、本道またはステージで苗に近づけるようにする。総石は、きぼうの樹計画共通で、地球をまわった球状で小さく自立した目物とする。

この事業をきっかけに、各地の市民・青少年交流を醸成し、ワンアースが掲げるあらたな夢と希望の宇宙文化活動を展開していく

本年度の業務範囲は、以下の通りとする。

- ① 東北三県沿岸の全ておよび原発事故の被災地市町村(39)において、当該計画を公式化する(岩手沿岸12、宮城沿岸15、福島沿岸10・内陸2)



1e2018-001

- 2017年12月現在22市町村で採択(うち6に植樹済み)
- ② 公式化した市町村から、随時計画を具体化する
 - 現地視察を経た植樹場所の決定
 - 植樹時期の決定
 - 植樹する宇宙桜の種類決定
 - 植樹のための緑化造成の検討(ハートの柵、看板)
- ③ 植樹に至るまでの文化・交流イベントを計画し、実施する
 - 青少年主体のイベント企画
 - 贈呈元からの代表団派遣(市町村長が苗元を表敬訪問する)
- ④ 宇宙桜・苗を保有する各地域を廻り、復興のための苗の提供に係る協力関係の維持に努める
 - 苗制作に対する補助金配布も検討する
 - 秋田県仙北市(宇宙武家屋敷枝垂桜)
 - 福島県三春町(宇宙滝桜)
 - 山梨県北杜市(宇宙神代桜)
 - 岐阜県岐阜市(宇宙星桜)
 - 岡山県真庭市(宇宙醍醐桜)
 - 高知県仁淀川町(宇宙ひょうたん桜)
 - 静岡県浜松市(宇宙スマイル)
- ⑤ きぼうの桜サミット
 - 2018年5月20日(日)淡路島夢舞台で開催
 - 2018年秋ごろ 福島県内で開催
 - 市町村単位のみならず、包括的なイベントで広域交流機会を創出
 - 将来的には、各地で宇宙桜を増やし、サミットで苗や実を交換
- ⑥ 合唱曲「きぼうの桜」の普及活動
 - 作詞 村田さち子先生、作曲 しゅうさえこ先生
 - 各市町村での贈呈で必ず歌われるようにする
 - 全国の著名な合唱団等に紹介する



1e2018-001

きぼうの桜事業の詳細については文書番号 1e2018-002「きぼうの桜計画 2018年度版」に定め、随時改訂していくものとする。



1e2018-001

2) 新規事業の創出

国内外の地域交流、教育に貢献するため、以下のような事業に着手する。

- ① 青少年と共に学ぶ宇宙教育
 - きぼうの桜のみならず、宇宙教育の機会を創出する
 - 学会等からの応援も要請(日本マイクロ重力応用学会など)
- ② 新たな宇宙フライトミッションの創出
 - 国内需要の開拓と JAXA/JAMSS 等との連携による実現
 - 東北から宇宙へ！ ミッション創出(福島中心に検討)
 - 地球の欠片(エベレスト、ツバル、深海)ミッションの仕込み
- ③ ピアノの巨匠の東北演奏(三船文彰理事案件)
 - ルース・スレンチェンスカ女史(93)の東北訪問(4月下旬)
- ④ 国際交流とパイロット事業試行
 - 台湾との国際交流(三船文彰理事案件)
- ⑤ 出版
 - 若田光一による地球写真集世界出版



3) 広報

① ワンアースのホームページを随時維持改訂・改善する

- ホームページは即時改訂に努め、活動報告や各種公示が遅滞なく実施できるようにする
- きぼうの桜計画で東北各市町村を巡礼するに当たり、先方の担当の方が当財団を知るために必要な情報を、常時最新化し、掲載しておく

② ワンアースのパンフレットを随時維持改訂・改善する

- 美しく分かり易い、そして女性のバッグにも入りやすいコンパクトなサイズのパンフレットとする(A5サイズ以下など)
- パンフレットには提携しているカリスマ犬「サモエド犬のソラ」などのキャラクターを活用し、ホームページ閲覧への誘因効果を得る
- きぼうの桜計画の説明において各市町村を巡礼する際にも活用するほか、機会を作り、配布・公示に努める

③ イベント等の活用

- 宝塚歌劇団とのコラボ
- 宇宙コミュニティの集会、有力学会等における発表もしくは展示機会を、効果的に利用する
 - イベント学会、生態工学会、マイクロ重力応用学会等
 - 宇宙カルチャー研究会、宙女 等民間宇宙コミュニティ

④ ノベルティグッズ等

- クリアフォルダ、ネクタイ、カレンダー、宇宙酒等

⑤ 物販等収益事業(協賛事業)

- 宇宙グミ(株式会社ビー・シー・シー様・東京)
- 宇宙線香(株式会社梅薫堂様・淡路島)



1e2018-001

4) その他

① 会計システムの強化

② 公益財団申請

- 会計システムの強化安定を待って、次年度再申請する

③ 補助金の獲得

- 目標 1000 万
- 復興庁、国土交通省、文部科学省 等
- 在野の補助金

④ 協賛の獲得

- 優良大企業への打診等
 - 財団全般への支援／きぼうの桜等個別プロジェクトへの支援の識別が必要

⑤ オフィス等

- 事務所は当面、茨城県竜ヶ崎市、代表理事の自宅で代用する
- 常勤者(現状は代表理事のみ)への報酬支払については、補助金の獲得等財政事情に合わせて考慮する

⑥ キャンパス構想

- 将来的には、ワンアースの事業拠点を国内外各地に広げていく
- キャンパスと呼称し、各地のキーになる活動主体と緩やかに連携
- 香川県小豆島、兵庫県淡路島が西のキャンパス認定候補地



1e2018-001

5. 長中期事業項目(2019-2022年)

一般財団法人ワンアースの社会的使命を果たすため、中長期的には以下の事業に取り組む。

- 1) 宇宙桜等の保護、育成、増殖及び活用
- 2) 東日本大震災、阪神淡路大震災等復興地への支援活動
- 3) 青少年等の夢をはぐくむ宇宙文化創造事業(市民参加型宇宙ミッション含む)
- 4) 宇宙文化交流事業(海外への桜贈呈等含む)
- 5) 地球市民参加型宇宙ミッション(花伝説世界版、地球のかげら など)

これらに関しては、今年度の事業進捗を踏まえつつ、次年度以降の事業計画に反映していくものとする。